

[乳腺外科]

[研修の目標]

朽久保順平（乳腺外科部長）

日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、臨床遺伝専門医、遺伝性腫瘍専門医

細川優子（乳腺外科医長）

日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、乳がん検診超音波検査実施・判定医師、乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師

[研修コース：希望選択科研修]

1 か月の研修を基本とし、希望に応じて研修期間を延長できる。

[研修指導体制]

指導医と共に患者担当医の一員として診療に従事し、研修する。外来患者に対して指導医のもと問診、診察、乳房エコーを実施し、診断から治療計画に至る過程を研修する。また乳癌に対する薬物療法の実験を経験する。手術では指導医のもと助手とし乳腺手術を経験する。その際に皮膚縫合などの基本的な外科的手技を習得する。定期開催される多職種カンファレンス、術前カンファレンス、病理カンファレンス、画像カンファレンスに参加し、乳癌診療に対する知識およびチーム医療に対する理解を深める。

[研修内容および到達目標]

(1)乳腺疾患に関する基本的知識の習得

- ・乳腺の解剖
- ・乳腺の良性疾患と悪性疾患
- ・乳癌の疫学

(2)乳腺疾患に関する基本的な診療技術の習得

- ・問診、視触診
- ・乳房エコー
- ・画像診断（マンモグラフィ、乳房エコー、乳房 MRI など）

(3)乳腺手術に関する基本的手技の習得

- ・手術器具（メス、電気メス、撮子、鉗子、鋏など）の使い方
- ・皮膚縫合